

生成 AI 研究校実践事例

学校名	都立城南特別支援学校（知的障害を併せ有する教育課程・高等部）		
学年	第 1 学年	教科等	国語
単元名（全 5 時間）	生成 AI で夏の俳句を作ろう		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みの思い出をもとに生成 AI を用いて俳句を作り、互いに読み合う。 ・こういった作品が良い俳句とを感じるか、考えをまとめる。 		
本時において生成 AI を活用する良さ	生徒自身ではなく生成 AI の作品を教材とすることで、作品を忌憚なく批評しやすい。性能に差がある AI を使って同じテーマで俳句を作り、それらを読み比べることができる。		

本時の目標 (4/5 時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・生成 AI を使って、夏の思い出とそこで感じた気持ちを詠んだ俳句を生成することができる。 ・季語や五七五のリズムという俳句の特徴を理解し、生成した俳句がその基本的なルールに従っているかを確認することができる。 ・より良い俳句の表現について、自分なりに考えを持つことができる 	
	●主な学習活動・生徒の活用	□生成 AI の活用
本時の流れ	<ul style="list-style-type: none"> ●授業内容確認 <ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標や前時までの学習内容を確認する。 ●俳句を作る。 <ul style="list-style-type: none"> ・前回の授業までに考えた夏の思い出をもとに、生成 AI を活用して俳句を作る。 ・生成された俳句に季語が使われているか検証する。授業内容確認 ●俳句を発表する <ul style="list-style-type: none"> ・1 人ずつ生成した俳句と、使われている季語を発表する。 ●俳句の音数が五七五であるかを全員で確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の俳句を教員が音読し、生徒はそれに合わせて拍手をして音数を数える。 ●生成された俳句を検討する。 <ul style="list-style-type: none"> ・生成された 2 つの俳句のうち、どちらがより良いと感じられるかを考え、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> □生成 AI を使って俳句を作る。 □生成 AI を使った俳句を鑑賞し、比較する。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> （主発問）普通の AI と高性能な AI が作った俳句を読み比べて、どちらの俳句が良いと感じるかを考えてみましょう。良いと感じた理由も考えてみましょう。 </div>	
	<ul style="list-style-type: none"> ●まとめ <ul style="list-style-type: none"> ・教員からの評価を受けて、学習活動の成果を実感する。 	

	使用したプロンプト例	出力例
1	私の夏の思い出を5・7・5のリズムで俳句にしてください。私は夏休みに金沢に行きました。夜の茶屋街が一番の思い出です。建物の明かりが幻想的でとても美しかったです。	素敵な夏の思い出ですね！それでは、その思い出を5・7・5のリズムで俳句にしてみましょう。 夏休み 金沢夜の 明かりかな
2	私の夏の思い出を5・7・5のリズムで俳句にしてください。私は夏休みに家族でドライブに行きました。カーブを曲がる時、スリルがあって楽しかったです。	もちろんです！以下の俳句はいかがでしょう？ 曲がる度 笑顔あふれる 夏の道 この俳句が、あなたの素敵な夏の思い出を表現できていることを願っています。
3	私の夏の思い出を5・7・5のリズムで俳句にしてください。私は夏休みに映画館に行って、アイドルのアニメ映画を見ました。映画のライブシーンを見てとても感動しました。	もちろんです！以下の俳句はいかがでしょう？ スクリーン 映し出される 夏の星 どれもあなたの夏の思い出が詰まっていると感 じていただければ幸いです。

	本時において生成AIを活用する上での配慮事項・ポイント
1	多くの場合、上記のプロンプト例1のように、プロンプト内の単語を羅列する形の俳句が多かったが、アイドルを星に比喻した例3のように工夫がみられる生成結果もみられたため、そういった生成を引き出すためプロンプトを工夫する余地があると感じた。ただし、季語はプロンプト内の「夏」や「夏休み」を引用してしまうことがほとんどであったため、どの季語を使うかを事前に生徒に考えさせる授業を行なった上で、「季語は〇〇を使う」とプロンプトで指定する方が良いと反省している。
2	多人数の一斉授業だったため、AIにログインするパスワードの入力を介助するために時間がかかってしまった。事前にログインした状態で授業を開始した方がスムーズだと考えられる。